

#GifuCanada ホストタウン交流 Project
東京オリンピック・パラリンピックレガシー
2024年度 学校連携事業

令和6年度 実績報告書

2025年3月

岐阜県 地域スポーツ課

岐阜市立長良西小学校 実績報告書

学校名	岐阜市立長良西小学校			
所在地	岐阜市千代田町2丁目1番地			
学校規模	全校生徒数	611人	クラス数	21クラス
本事業への参加者	2年・112人	4年・105人	6年・101人	
実施概要	月	概 要		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ■英語・特別活動 パラオリンピック選手との交流に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸2024世界パラ陸上競技についての学習 【パラ種目・選手について】 	
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ■パラオリンピック選手との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダパラ陸上選手との交流(5/27) 【砲丸投げ・立ち幅跳び選手来校】 ※体育館にて交流 	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ■特別活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・I'm Possibleでの学習(座学) ・パラ種目についての学習 	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ■特別活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・I'm Possibleでの学習(座学) ・パラ種目についての学習 ・パリオリンピックについて調べよう ・パリパラの競技について調べよう 	
	8・9月	<ul style="list-style-type: none"> ■自主学習 ■特別活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にあるカナダを探してみよう ・パラリンピックについて調べよう ○パリパラメダリストへ 「おめでとう動画撮影」 6年生より→グレッグ選手へ 【4年生事前学習】 ・ゴールボールについて知ろう ○4年生で「おめでとう動画撮影」 【田口選手へ】9/9 	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ■特別活動 	<ul style="list-style-type: none"> 【全校事前学習】 ・パラスポーツについて知ろう ・ゴールボールについて調べよう 	
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ■保健体育 ■特別活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアンの方の講演 ※パリパラ金メダリスト田口選手来校 ○全校お祝いの会 ○4年生 ゴールボール体験(11/18) 	
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■特別活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・I'm Possibleでの学習(座学) 	

			・パラ種目についての学習
1月	■特別活動		【2年生事前学習】 ・I'm Possible での学習（座学） ・ボッチャについて知ろう ・ブラインドサッカーについて知ろう
2月	■保健体育 ■特別活動		・パラ種目の体験 ・講師よりブラインドサッカーについて説明 ○2年生ブラインドサッカー体験（2/27）
3月	■英語 ■特別活動		・カナダ陸上選手に向けた応援メッセージを送ろう (3/月上旬・・・日程調整中) ・今年度の活動について振り返り ・今後の共生社会に向けての理解

実施内容詳細

<カナダオリパラ選手との交流>

開催日時	令和6年5月27日（月）
会場	体育館及び校舎
参加者	5・6年（200人）
ねらい・目的	・選手紹介を通して交流を深める。
活動内容	○選手の紹介（種目や実績）を行い、パラ種目や選手について知る。また、パリパラに向けての応援と実演を通して、カナダオリパラ選手との交流を深めた。
実施の様子	

実施の様子	
児童・生徒の反応	<p>実際に選手と交流ができ嬉しかった。特に、砲丸投げを行っていただいたり、幅跳びを行ってくださったりして、パラアスリート選手の力に驚いた。間近で見ることができ楽しかったし、パリオリンピックに向けてエールも送ることができ素敵な時間を過ごすことができた。</p>
取組み結果	<p>子供たちが、カナダオリパラ選手との交流を楽しみにして取り組み、様々な企画を考えて実行することで、外国の方とつながる楽しさを味わうことができた。</p>

<全校お祝いの会・4年生ゴールボール体験活動>

開催日時	<p>令和6年11月18日（月） 9時30分～14時45分</p>
会場	体育館
参加者	全校児童610人 4年 98人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・田口選手に向けて、お祝いの気持ちを伝える。 ・オリンピックの講話を聴いたり、ゴールボール体験を行ったりすることで、自分の夢やこれからの人生について考えることができる。
活動内容	<p>○全校でお祝いの会 ○3クラスごとに、講話と体験活動を行った。 ① ゴールボール体験 ② 感想交流・お礼</p>
実施の様子	

実施の様子	
児童・生徒の反応	<p>パリパラで金メダルを獲得した田口選手に会うことができ、感動しました。お祝いの会では、田口選手が喜んでくれてとても嬉しくなりました。また、初めてゴールボール体験をして、ボールがとても重たくてびっくりしました。目を閉じてやってみたけど、静かにして鈴の音を聞かないとボールの位置が全く分かりませんでした。田口選手はすごいなと思いました。</p>
取組み結果	<p>すごい選手を目の前で見られて、子供たちも教員も嬉しかったですし、素敵な時間でした。自分の夢に向かって頑張っている田口選手の思いを聞いて、自分の生き方を考えられるきっかけとなりました。</p>

< 2年生ブラインドサッカー体験活動 >

開催日時	<p>令和7年2月27日（木） 9時30分～12時00分（150分）</p>
会場	体育館
参加者	2年 105人
ねらい・目的	<p>講師の話を聴いたり、ブラインドサッカーの体験活動を行ったりすることで、障がい者スポーツの事をさらによく知ることができる。</p>
活動内容	<p>4クラスを3クラスに分けて、講話と体験活動を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 講師の紹介 ② 講師による講話（ブラインドサッカーについて） ③ ゴールボール体験 ④ 感想交流・お礼
実施の様子	

<p>児童・生徒の反応</p>	<p>事前に障がい者スポーツについて学習して、ブラインドサッカーについて学ぶことができた。 ブラインドサッカーを初めてやったけど、目隠しをしてボールを蹴ることはとても難しかった。また、ボールの中に鈴が入っていることも初めて知って驚きました。</p>
<p>取組み結果</p>	<p>事前・当日・事後、子供たちと障がい者スポーツについて考える時間を作ったことで、障がい者スポーツについて関心を深めたり、理解を育むことができた。</p>

岐阜市立三里学校 実績報告書

学校名	岐阜市立三里学校			
所在地	岐阜市六条北2丁目5番1号			
学校規模	全校生徒数	731	クラス数	28
本事業への参加者	4年・110人			
実施概要	月	概 要		
	4月	「カナダ人陸上選手との交流」	・清流ハーフマラソンに出場するカナダ人選手に来ていただき、日本の文化を紹介し、一緒に体験する。	
	6月	「誰もが暮らしやすい社会にするために」	・福祉についてテーマ別探求学習(本、インターネット)	
	7月	「誰もが暮らしやすい社会にするために」 「応援動画撮影①(ロリー選手、カナダパラ陸上選手)」 「応援動画撮影②(石田選手、田口選手) 5年生による」	・プレゼンテーション作り、発表 ・希望者による応援動画の撮影(①4年生、②5年生)	
	9月	「ボッチャ体験会」 「I'm possible」 「金メダルおめでとう動画撮影」	・(株)リーフラスより講師の石谷さんを招いてボッチャ体験 ・I'm possible 小学校用教材を用いてパラリンピックなどについて学ぶ。 ・希望者による「おめでとう動画」の撮影	
	11月	「ゴールボール田口侑治選手講演・体験会」	・田口侑治選手の講演会+ゴールボール体験会	
	12月	「学習発表会」「お家の人にボッチャを体験してもらおう」	・4月から積み重ねてきた学習内容をプレゼンテーションや体験を通して保護者に伝える会を行った。(岐阜県障害者スポーツ協会よりボッチャ用具借用)	
	1月	「カナダ人の先生によるカナダ学習」	・日本在住カナダ人の先生からカナダの国の成り立ち、文化、自然、食などについて学ぶ。	

<カナダ人陸上選手との交流>

開催日時	令和6年4月25日 13時45分～14時55分 (70分)
会場	体育館
参加者	4年 107人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学級代表によるプレゼンテーションをつかった「岐阜」の紹介 ・児童が催す日本の文化や遊び体験コーナーをロリー選手とエリン選手に体験して回ってもらう。 ①けん玉 ②折り紙の紙飛行機 ③習字 ④新聞紙で兜作り (こどもの日にちなんで) ・選手からのカナダの説明、質問コーナー ・記念写真撮影
実施の様子	 <p>左「ロリー選手とけん玉をする様子」 右「エリン選手と紙飛行機を折る様子」</p>
児童・生徒の反応	<p>当日は自分の担当の遊びや体験を楽しんでもらおうと、自信をもって、伝えたり体験してもらったりできていた。</p> <p>カナダの気候や自然などを英語で話してもらい、日本との違いにとっても驚いていた。</p> <p>ある児童はこの体験がきっかけとなり、自分の思いを母に積極的に伝えるようになった。</p>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・準備に時間がかかったが、児童の目的別グループで各コーナーの運営を子ども達ができる形にした為、意欲的に活動することができた。 ・年度の初めにカナダとのホストタウン事業について、楽しい雰囲気の中で子ども達も知ることができた。

<ボッチャ競技の体験>

開催日時	令和6年9月19日 11時25分～14時50分 (40分×4クラス)
会場	体育館
参加者	4年 107人
ねらい・目的	・ボッチャの体験を通してパラスポーツを知り、親しむことができる。
活動内容	クラス別ボッチャ体験 ・競技の説明 やり方 ・体験ゲーム
実施の様子	  <p>「講師石谷さんの話を聞く様子」「ボッチャ体験をしている様子」</p>
児童・生徒の反応	<p>私はボッチャを体験して、すごく楽しいスポーツなんだと思いました。ボッチャは障がいをもっている、もっていない関係なくできるので、いいと思いました。石谷さんからせつめいを聞いて、ボールがなげられない選手も、坂みたいなのがすやつか、あたまにつけて、ころがす器ぐとかがありました。私はボッチャをやっているせんしは全員、自分でボールをなげられる人かと思っていました。だけどなげられない選手もいるのを知りました。スポーツができることはあたり前ではない。と聞いていた石谷さんの気もちが分かりました。</p> <p>ボッチャとかのスポーツも、人づうがないとできないし、まず練習する所がないとできないので、やう所にかんしゃしないとだんごととも思います。障がいをもって</p>
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャが、障がいの有無に関わらず楽しむことができるスポーツであるということを知ることができた。 ・純粋にボッチャを楽しむことができ、パラスポーツを身近に感じることができた。

<田口侑治選手との交流会>

開催日時	令和6年11月19日 8時40分～9時20分 (40分×4クラス)
会場	体育館
参加者	4年 107人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・田口選手から話を聞くことを通して、視覚障がいをもった人たちの生活や思いを知ることができる。 ・ゴールボールの体験を通してパラスポーツと親しむことができる。
活動内容	<p>○田口選手講演会 内容：病気について、生活、ゴールボールについて、大切にしていること など</p> <p>○ゴールボール体験会 (40分×4クラス) 内容：競技の説明 先生との対決 ミニゲーム</p>
実施の様子	  <p>「金メダルを見せてもらう様子」 「ゴールボールを転がす様子」</p>
児童・生徒の反応	<p>ゴールボール体験では、広いコートで試合を行いました。僕がゴールボールをして感じたことは、ボールはとても重くてあまりまっすぐ行かなかったり、すずが入っていてもどこにあるか分からなくなったりしてとてもむずかしかったことです。でも田口選手は音だけでどこにボールがあるか分かっていた、とても練習したからだと思いました。(中略)じゅん決勝で中国に初めて勝った(話で)、田口選手は「あきらめないと、いいよ。」と言ってくれました。金メダルをさわって感じたことはとても重かったし、とても大きくて、初めて金メダルをさわることができたのでとてもうれしかったです。(児童感想)</p>
取組み結果	<p>努力することでできないことを克服したり、あきらめないで挑戦し続けることで金メダルにたどり着くことができたり、世界を目指す選手になれたりすることを児童が知ることができた。</p>

<カナダ人のアンドリュース・デュア先生とのカナダ学習>

開催日時	令和7年1月29日 10時35分～11時20分 (45分)
会場	体育館
参加者	4年 107人
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・講師紹介 ・カナダの紹介（歴史、文化、自然、食など） ・児童から講師への質問 ・記念撮影
実施の様子	 <p>「カナダの国の成り立ちや自然などについて講演を聞く様子」</p>
児童・生徒の反応	発達段階的に理解することが少し難しい内容もあり、聞いているだけの時間もあったが、登下校時の様子（気候、自然環境）と動物や食べ物の写真などが出てきたときは興味のある子が多かった。
取組み結果	カナダについていろいろと知ることができた。

<学習発表会>

開催日時	令和6年12月7日 8時40分～10時15分 (95分)
会場	アゴラ教室、教室、廊下、音楽室
参加者	4年 107人とその保護者
ねらい・目的	保護者に伝えることを通して、学習内容を再確認し自分の生き方に繋げて考えたり、話し方や伝え方など表現の方法を身につけたりすることができる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーションを使ってグループごとに発表会 ○テーマ 困っている人、パラリンピックについて、パラスポーツについて、ゴールボール競技について、ボッチャ競技について、田口侑治選手について 等 ○保護者にボッチャを体験してもらう

実施の様子



上「パラリンピックなどについてプレゼンする様子」

下「親子でボッチャを体験する様子」

児童・生徒の反応

保護者の前での発表は緊張感があり、分かりやすく伝えようという思いから繰り返し練習し、願い通り発信することができた児童が多かった。

取組み結果

・4月から学習してきた内容を保護者に伝えるという、使命とボッチャをお家の人にも体験してほしいという願いがあるため、自分が感じたことや教えてもらったことを再確認し、児童が自分の言葉として再構築することができた。結果、体験や学習した内容がより深まり、児童の中で印象深い一面として残すことができたと感じる。

岐阜市立島中学校 実績報告書

学校名	岐阜市立島中学校			
所在地	岐阜市則武西1丁目8番2号			
学校規模	全校生徒数	605人	クラス数	22学級
本事業への参加者	2年生・陸上競技部員 210人			
実施概要	月	概 要		
	6月			
	7月	パリ向け応援動画の撮影	カナダチーム、石田駆選手に向けた、陸上競技部による応援メッセージ	
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月	キャリア学習と車いすバスケット選手との交流会	車いす製作会社、車いすバスケットボールチームによる進路講演と、車いすバスケットボール体験	
	1月			
	2月			
3月				

<パリ向け応援動画の撮影>

開催日時	令和6年7月18日 16時15分～16時45分（30分）
会場	島中学校 中庭
参加者	陸上競技部員 21人
活動内容	パリオリンピック・パラリンピックに出場する、カナダ陸上チーム、石田駆選手への応援動画撮影
実施の様子	<p>島中学校中庭にて、応援動画を撮影した。</p> <p>【応援メッセージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パリオリンピックに出場するカナダ選手の皆さん、こんにちは！岐阜市立島中学校陸上部です！ ・私たちは、記録向上をめざして、ここ岐阜の地で毎日トレーニングに励んでいます。先日の大会でも自己記録を更新できた仲間も多くいて、次の大会に向けて調整中です。 ・私たちも、将来、皆さんのように色々な大会で活躍できるよう頑張ります。 ・パリまで応援には行けませんが、テレビを通して、皆さんの活躍を応援しています。 ・それでは、パリオリンピックに出場するカナダ選手の皆さん、ベストを尽くして頑張ってください。 ・せーの ゴー カナダ わー（手を振る）
児童・生徒の反応	オリンピック選手を応援することで、自分もより一層頑張ろうという気持ちになった。もうすぐ自分も大会があるので負けないように努力したい。パリオリンピックに対する興味も湧いてきた。

＜キャリア学習と車いすバスケットの選手との交流会＞

開催日時	令和6年12月12日 13時15分～14時55分（100分）
会場	島中学校 体育館
参加者	2年 189人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事に誇りを持ち、製品を使う人のことを考え、追究し続ける姿勢に触れることで、仕事に取り組む姿勢や進路を選択する上で大切なことを感じ取ることができる。 ・ハンディキャップに負けず、自分にできることに前向きに取り組む生き方に憧れをもち、困難に負けず、明るく前向きに生きようとする意識を高める。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・13:15～ 開会 ホストタウン交流紹介（県より） ・13:20～ 松永製作所 講話「パラアスリートを支える企業」 ・13:30～ 岐阜SHINE 講話「車いすバスケットボールを通じて学んだこと」 ・13:45～ 車いすバスケット体験（シュート練習、試合） ・14:45～ 閉会 2年生代表生徒の話 写真撮影 <p>講話は、2年生全学級を体育館に集め、プロジェクターとスクリーンを使って行った。松永製作所の方には、主にキャリア学習の意味合いを強くした商品開発にかける思いや工夫点について話をいただいた。とくに、「車いすを使われる方の思いや使用方法など、細かなニーズに合わせて製作することが大切。」という思いに多くの生徒が感銘を受けた。</p> <p>車いすバスケットチーム岐阜SHINEの方との交流会では、参加者全員が競技用の車いすを体験した。まず真っすぐ前進することや後退すること、向きを変えることや止まることなどの基本操作を教えていただき、シュート練習を行った。基本的な動きを練習した後は、車いすバスケット対決を行った。各学級代表チーム（5人）と岐阜SHINE（2人）との対戦では、生徒も随所に好プレーを見せたが、岐阜SHINEの方の巧みなボールコントロールや力強さに感嘆の声を上げていた。</p> <p>試合に参加した生徒だけでなく、周りで見学をしていた生徒たちも一緒になって楽しみ、盛り上がることもできた。</p>
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 講話を聞き、車いすバスケットを楽しむ生徒たち </div>

<p>児童・生徒の反応</p>	<p>岐阜SHINEの方は2人なのに、本当にすごいと思いました。ボールをカットされて、追いかけても全く追いつくことができず悔しい思いをしました。下半身に障がいあるはずなのに、力強く鋭いパスを出せるのも驚きました。</p> <p>障がいがあっても努力と工夫で、できないことは無くなっていくのだと見て思いました。自分もバスケットをやるので、もっともっと練習して、できることを増やしていきたいです。</p>
<p>取組み結果</p>	<p>以前は、寒い体育館での実施のため、大型ストーブを使用して暖を取って行っていたが、現在はエアコンが設置されたため、比較的暖かい環境で話を聞いたり活動を行ったりすることができた。</p> <p>今年度は松永製作所と岐阜SHINEの方による進路講話と、車いすバスケット体験をセットで行ったが、どちらも生徒にとって有意義な体験となった。</p>

岐阜県立岐阜商業高等学校 実績報告書

学校名	岐阜県立岐阜商業高等学校			
所在地	岐阜県岐阜市則武新屋敷 1 8 1 6 - 6			
学校規模	全校生徒数	1,066	クラス数	27
本事業への参加者	グローバルビジネス科 1～3年 118人、陸上部			
実施概要	月	概 要		
	7月	メッセージ動画撮影	オリパラ選手に向けたメッセージ動画撮影	
	8月	交流会	トロント大学の学生との交流会	
	11月	カナダを知る取組	カナダ大使館出前講座	
	1月	事前学習	I'm Possible での学習	
	1月	パラスポーツ体験	車いすバスケットボール体験	

実施内容詳細

<カナダ選手に向けたメッセージ動画撮影>

開催日時	令和6年7月12日 16時00分～16時45分 (45分)
会場	本校 (野球部雨天練習場)
参加者	陸上部
ねらい・目的	カナダ陸上チームとのホストタウン交流
活動内容	・カナダ陸上チームへの応援動画メッセージ
生徒の反応	・カナダ陸上選手が岐阜県と関わりがあることを知り、応援したいと思った。 ・選手が岐阜に来た際には交流できたら良い。
取組み結果	・応援動画を送ることで、カナダ選手を身近に感じ、今後の交流の意識付けとなった。 ・パラスポーツへの関心をもつきっかけとなった。 ・スポーツを通して交流できることの楽しさを知り、英語の学習にもつながった。

<トロント大学の学生との交流会>

開催日時	令和6年月19日 13時00分～14時00分(60分)
会場	本校(1K教室)
参加者	1・2年 13人
ねらい・目的	留学や海外の大学への進学実現に向けたビジョンを持つとともに、国際的な視野を広げる。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講話 (留学に至る経緯、・日本とカナダの学校の違い 現地での活動) ・質疑応答
実施の様子	 
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の大学について熱心に話を聞いていた。 ・留学にあたって準備しておいたほうがよいこと、高校生活でやるべきことについて質問する姿がみられた。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・留学が身近に感じられ、進路決定において選択肢の一つとして考えるきっかけとなった。 ・英語習得のモチベーションが上がった。

<カナダ大使館出前講座>

開催日時	令和6年11月13日 10時45分～12時35分(110分)
会場	本校(メディアホール)
参加者	1～3年 118人
ねらい・目的	大使館の仕事を知り、国際情勢に関する興味・関心を高めるとともに、高校卒業後の進路選択や将来の職業選択に繋げる。
実施内容	<p>岐阜県の紹介プレゼンテーション 英語による講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大使館の業務内容 ・国際情勢と外交問題 ・英語学習の大切さ
実施の様子	 
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜の魅力について英語で伝えることができた。 ・カナダ大使館の方の実際の話を知ることができ、英語で交流ができてよかった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・オールイングリッシュの講話を聞くことができた。 ・世界で活躍する方の話を聞き、海外の人と関わる職業を考えるきっかけとなった。 ・英語学習の意識づけにもなった。

<事前学習（I' m possible を使った授業）>

開催日時	令和7年1月9日 13時15分～14時05分（50分）
会場	本校（3K教室）
参加者	3年 38人
ねらい・目的	パラリンピック・パラスポーツの理解
活動内容	I' m possible を使った授業 <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックとは ・パラスポーツの理解
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに熱心に取組んだ。 ・パラスポーツのクイズに取組みながら理解を深めた。 ・パラスポーツの意義についてよくわかった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人もない人も共生できる社会への理解が深まった。 ・車いすバスケットについて知り、交流に向けて準備することができた。

<車いすバスケットボール体験>

開催日時	令和7年1月10日 13時30分～15時00分（90分）
会場	岐阜県福祉友愛アリーナ
参加者	3年 38人
ねらい・目的	パラスポーツを通じた共生社会への理解
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜 SHINE の選手による講演 ・車いすバスケットボール体験
実施の様子	

	
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボールが実際に体験でき有意義だった。 ・選手の方が車いすバスケットを始める経緯がわかり心に響いた。 ・「今できることに一生懸命取り組む」や「人との出会いは成長につながる」などの熱い言葉に感動した。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に車いすに乗ることで、操作の難しさがわかり、生徒にとって貴重な体験となった。 ・選手の方の話聞き、障がいのある人もない人もスポーツを通して交流できる素晴らしさを伝えていただき、生徒にも響いた。 ・体験を通して、多様性や共生社会について考えるきっかけとなった。

各務原市立緑苑小学校 実績報告書

学校名	各務原市立緑苑小学校			
所在地	各務原市緑苑北1丁目10番地			
学校規模	全校生徒数	111名	クラス数	7
本事業への参加者	4, 5, 6年・70人			
実施概要	月	概 要		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月	緑苑ベストショット	緑苑の魅力を写真で紹介する。	
	9月	住みやすい街「緑苑」 (総合の時間)	誰もが住みやすい街づくり (福祉学習をテーマに探求活動)	
	10月	↓		
	11月	パラリンピアンと交流	・車イスバスケット選手の講演と体験	
	12月			
	1月	↓		
	2月	カナダ・トロント交流	・カナダとのオンライン交流会	
	3月			

1. <車イスバスケット選手との交流と車イスバスケットの体験会>

開催日時	令和6年11月29日 9時30分～12時00分 (130分)
会場	体育館
参加者	4, 5, 6年 70人
ねらい・目的	1) 選手の生き方に学ぶ 2) 福祉教育の視点から、車イスバスケットボール競技の理解と体験を通して、共生社会の実現について考える機会とする。
活動内容	プログラム 1) あいさつ (講師紹介) 2) 講演 3) 車イス体験 4) 車イスバスケットボール ゲーム体験 5) お礼

<p>実施の様子</p>	 <p>選手による講話 車イス体験①</p> <p>車イス体験② 車イスバスケット（試合）</p>
<p>児童・生徒の反応</p>	<p>「車イスバスケットは、すべての人が公平に参加できる、考えられた競技で、これは今自分たちが過ごしている学校生活やこれからの社会でも同じです」という言葉がとても心に残りました。（6年生児童 感想より）</p> <p>好きなことができなくなっても、自分でできることを見付け、積極的に挑戦した選手の生き方にも触れつつ、ミニゲーム後には、「難しかったけど、もう一度をやりたい」と、どの子どもが感想を話していた。</p>
<p>取組み結果</p>	<p>「体験重視」の考えから、時間にゆとりをもってプログラムを企画した。</p> <p>○早めにアポイントメントを取っていただき、開催日を確定していただけたのでありがたかった。</p> <p>○パラリンピック参加時のお話は、普段知りえない部分であるため、とても貴重な機会であった。</p> <p>○車いすバスケットの選手になるまでの話も、子どもたちにとって「生き方を考える」機会となった。</p> <p>○リレー→バスケットの試合、と車イス操作について段階を踏んで学び、ゲームに参加できたことで、バスケットのゲームをどの児童も楽しむことができた。</p> <p>●専用の車いすが借用できたこと。運搬もしていただけたことは大変ありがたかったが、本校での実施なら毎回そのようになることを希望したいと思う。それは今後可能だろうか。</p>

2. <カナダ人とのオンライン交流会>

開催日時	令和7年2月12日 8時20分～9時30分 (60分)
会場	オンライン
参加者	4年 19人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが住む町の魅力を発信し自覚する。 ・カナダに生活する方のスピーチから、カナダの気候や環境、国の成り立ちについて理解する。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑苑の魅力」を紹介 ・カナダの紹介 (カナダ在住の方2名) 【プログラム】 ・あいさつ ・自己紹介 ・「緑苑の魅力」紹介 (小学生のプレゼン) ・質問 ・カナダの紹介 (2名の方のプレゼン) ・質問 ・感想の交流 ・終わりに (メッセージ)
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小学生のプレゼン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カナダの方へ質問</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>感想発表</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カナダの方のプレゼン</p> </div> </div>
児童・生徒の反応	<p>【児童の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダのことが知れて楽しかった。 ・カナダの方の英語でのプレゼンが生で聞けてたのでよかった。 ・「緑苑の魅力」をたくさん伝えることができたのでよか

	<p>った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らないことが知れてよかった。カナダに行ってみたいと思った。 ・いろいろな国のことをもっと知りたい。 ・英語で会話をしてみたい。
<p>取組み結果</p>	<p>※今年度は昨年度と参加学年を変更し実施した。(昨年度は6年生が参加。英語でスピーチ)</p> <p>○4年生の参加であったため、基本、日本語でのプレゼンを行った。カナダの方との交流は、子どもたちにとって新鮮であり、カナダの方のプレゼンも、興味深く聞き入っていた。カナダへの関心を高めたこと、ネイティブな英語の発音にふれ、少しでも聴き取り、理解しようとする姿もあった。カナダは多く様々な国の出身者が生活しており、お互いの国を尊重するという文化について、子どもたちは学ぶことができた。</p> <p>●有意義な交流会にするためには、やはり準備の時間は必要であり、今回のような交流をどのような位置づけで行うのか、さらに目的を明確にしていきたい。</p> <p>①興味関心をもつ(学習の初期段階)、②自分たちの取組の集大成として発信する。または③中間的な位置づけとするプランも考えられる。これまで3年間を振り返り再構築したい。(貴重な授業時間の実践ではあるので、有意義なものにしたい。)</p> <p>●英語でのスピーチ(プレゼン)に挑戦したいが、どの学年実施でも活動時間の確保は課題。</p>

関市立旭ヶ丘小学校 実績報告書

学校名	関市立旭ヶ丘小学校			
所在地	関市旭ヶ丘2丁目1番1号			
学校規模	全校生徒数	321人	クラス数	13クラス
本事業への参加者	4年・52人、6年・50人、5年・有志10人			
実施概要	月	概 要		
	5月	タイトル	取組み概要を簡潔に記載	
	6月	カウントダウンボードづくり	・有志を募り、休み時間等を利用してボードを作る。	
	7月	カナダチーム応援動画撮影	・有志を募り、休み時間等を利用して撮影を行う。	
	8月			
	9月	ゴールボール体験	・6年生総合的な学習の時間を活用し、中嶋選手の講話とゴールボール体験を行う。	
	10月			
	11月	石田駆選手との交流会	・6年生総合的な学習の時間を活用し、石田選手の講話と50mを一緒に走る体験を行う。	
	12月			
	1月	岐阜県在住カナダ人との交流会 カナダ在住の方との交流会	・4年生総合的な学習の時間を活用し、カナダについての話を聞く。 ・カナダについての話を聞いたり、日本の紹介をしたりする。	
	2月			
	3月			

<I' m POSSIBLE を使った授業>

開催日時	令和6年6月5日、18日、19日、24日、28日、7月18日、9月4日 それぞれ45分間ずつ
会場	各教室
参加者	6年 50人
ねらい・目的	・パラリンピックを題材に共生社会に気づく。
活動内容	①動画を見て、パラリンピックについて知る。 ②パラリンピックスポーツについて知る。 ③パラリンピアン「香西選手」の生き方を学ぶ。 ④公平について考える。 ⑤パラリンピックのレガシーについて考える。
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアンが全力でプレーをしていた。思いっきり喜んだり悔しがったりしていて心を動かされた。 ・パラリンピックスポーツは、道具やルールが工夫されていて面白い。だれでも参加することができるのが魅力。 ・香西選手は、苦しいことでもあきらめずにやり抜いた。とてもかっこいい生き方をしている。 ・公平に参加できるのがパラリンピックの魅力。そのため工夫があることがわかった。 ・パラリンピアンは、誰もが過ごしやすい社会になることを願ってプレーをしていることを知った。そんな社会になったらいいなと思う。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「I' m POSSIBLE」の教材がネット上にあることで活用がしやすかった。動画もあったので、パラリンピックの魅力に児童が気づきやすかったと思う。 ・教材を活用しながら進める中で、共生社会の視点で考えられた。活用しやすい教材なので、今後も使えると思う。 ・パリ五輪が開かれたので、東京→パリに教材が変わるとさらによいと感じる。

<中嶋選手との交流会>

開催日時	令和6年9月19日 9時35分～11時30分 (115分)
会場	体育館
参加者	6年 50人
ねらい・目的	パラリンピックでの経験やパラアスリートとして感じていることを教えていただくことで「共生社会」への理解を深める。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、講師紹介 ・中嶋 茜選手による講話 ・中嶋 茜選手とのゴールボール体験 ・お礼の言葉、あいさつ、記念撮影
実施の様子	 <p>「中嶋選手の講話を聞く様子」</p>  <p>「ゴールボールを体験している様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいに対する見方が変わった。とても前向きに明るく接して下さった。好きなことを続けることで、金メダルを獲得してカッコいいと思った。 ・ゴールボールのときは、見えているみたいでびっくりした。やってみて、ゴールボールの楽しさが分かった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・中嶋選手の明るい人柄で楽しい時間になった。障がいについて見方が変わる子もいた。ゴールボール体験は来年度もやりたい。 <p>△学年での開催ではなく、学級ごとの開催にすることで、よりゴールボール体験ができるように感じた。</p>

<石田選手との交流会>

開催日時	令和6年11月15日 10時45分～12時15分 (90分)
会場	体育館、運動場
参加者	6年 50人
ねらい・目的	パラリンピックでの経験やパラアスリートとして感じていることを教えていただくことで「共生社会」への理解を深める。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、講師紹介 ・石田 駆選手による講話 ・石田 駆選手との50m競走 ・質疑応答 ・お礼の言葉、あいさつ、記念撮影
実施の様子	 <p>「石田選手の講話を聞く様子」</p>  <p>「石田選手と運動場で走る準備をしている様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・病気をしてもその困難と向き合って受け入れて、前を向いて努力して結果を残している生き方がカッコいいと思った。 ・左腕が思いっきりふれなくても、自分たちを新幹線みたいに追い抜かしてびっくりした。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・困難なことに対してどのように乗り越えていったのかを教えてくださいましたことがよかった。 ・実際に走ることで、アスリートの素晴らしさを感じられるので、来年度も走る活動は入れたい。

<カナダ人との交流>

開催日時	令和7年1月16日 9時35分～10時20分 (45分)
会場	音楽室
参加者	4年 52人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダについて理解を深める。 ・カナダについて調べたことの中から疑問に思ったことを質問し、教えていただくことを通して、カナダについてより親しみをもつ。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、講師紹介 ・講話(アンドリュー・デュアー先生) カナダのなりたち、カナダの紹介 ・質疑応答 ・お礼の言葉、あいさつ ・記念撮影
実施の様子	 <p>「デュアー先生の講話を聞く様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダは近くに動物が来たり、湖があったりして、自然が多いことがわかった。 ・半年も雪があつて、氷の上を歩いて登校するなんて、おどろいた。 ・多くの写真を見せていただき、とても興味深く話を聞いたり、驚きを口にしたりしていた。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダについて、自分達で調べただけでは分からなかったことを知ることができ、関心を深めることができた。その後の、自分のテーマ発表の参考にすることもできた。

<カナダ岐阜県人会とのオンライン交流>

開催日時	令和7年1月22日 8時45分～9時30分(45分)
会場	音楽室<オンライン>
参加者	4年 52人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダについて理解を深める。 ・自分たちが住んでいる日本や関市についてカナダの方々に伝える活動を通して、ふるさとの魅力を再認識する。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、講師紹介 ・カナダの方々の自己紹介 (居住地の周囲の様子、日常生活の過ごし方等) ・児童による日本や関市の紹介 ・質疑応答 ・お礼の言葉、あいさつ、記念撮影
実施の様子	 <p>「日本や関市についてカナダの方に紹介をしている時の様子」</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な場所にいる人とリアルタイムで交流することができ、時差や世界とのつながりを感じていた。 ・日本のよさを世界に伝えようとしている人、日本のことを好きな外国人、外国に住んでいる日本人、それぞれの話を聞くことで、改めて日本のよさを感じることができた。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・数か所に分かれてのオンライン交流が新鮮であった。 ・世界で活躍している方の話を聞いたり、通訳している様子を目の当たりにしたりすることができ、キャリア教育の視点でも、児童に考えさせるよい機会であった。

多治見市立笠原小学校 実績報告書

学校名	多治見市立笠原小学校			
所在地	多治見市笠原町3387-308(令和8年3月末日まで)			
学校規模	全校生徒数	330名	クラス数	14
本事業への参加者	4年生:64名・5年生:54名・6年生:60人			
実施概要	月	概 要		
	5月	校内職員に「岐阜県とカナダとのホストタウン交流推進事業」についての周知カナダパラアスリートの学校訪問受け入れ	5年生・6年生職員を中心として、「岐阜県とカナダとのホストタウン交流推進事業」の概要等、今年度の計画について提案した。 神戸パラ陸上に出場のカナダのパラアスリートとの交流を実施。	
	6月	パラスポーツ体験(車いすバスケットボール)	競技用車いす10台が本校に納品され、贈呈式の折に元車いすバスケットボール日本代表選手による車いすバスケットボール体験を行い、本事業への意識づけやパラスポーツへの参加意識を高めた。	
	7月	パラスポーツの理解パリ・パラリンピックに出場する選手に向けての応援動画の製作	体験を行う車いすバスケットボールをはじめとしたパラスポーツを知る機会を位置付けた。 パリ・パラリンピック出場選手に向けての応援動画を5年生、6年生が出演し動画を製作した。	
	9月	パリ・パラリンピックメダリスト、出場選手に向けての「おめでとう&お疲れさまでした」動画の製作	5月に本校を訪問したカナダのパラアスリートが金・銀メダルを獲得。網本選手とともに「おめでとう・お疲れさまでした動画」を製作。	
	11月	網本麻里選手を招いての講話と車いすバスケットボール体験	本事業のテーマの1つである「共生社会の実現」に向けた取組として、東京パラリンピック車いすバスケットボール女子日本代表の網本麻里選手を招いて講話と体験授業を行った。	
	12月	カナダについて知る	オンライン交流に向けてカナダについて予備知識をもつ機会を設けた。	
	1月	Unit7「Welcome to Japan」の学習	今後のオンライン交流に向けて、英語の学習単元で紹介内容を考えた。	
	2月	オンライン交流に向けての準備	3月に行うオンライン交流に向けて、交流内容を考えた。	
	3月	カナダ県人会のご協力によるカナダとのオンライン交流 日本在住カナダ人によるカナダ紹介	カナダ県人会の鷲見英樹さんとコーディネーターの田中恵美子さんの協力を得て、カナダ現地の方との英語でのコミュニケーション活動を行った。 東海学院大学デュアー先生によるカナダ紹介を聞く。	

実施内容詳細①

＜カナダ代表パラアスリートによる学校訪問＞

開催日時	令和6年 5月27日(月) 13時30分～14時45分(60分)
会場	多治見市立笠原中学校 体育館
参加者	6年生：60名
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸・パラ陸上世界大会に出場する選手を招き、「パラスポーツへの共感」と、本校が長年推進してきている「国際理解教育」の具体的な学びの場として、児童にとっての豊かな体験活動・学習とすることができる。 ・選手との交流を通して、「共生社会の実現」や「国際理解の推進」に向けて強く歩み出す心情を養う。
活動内容	<p>＜はじめの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表と校長からの歓迎のあいさつ ・選手自己紹介 <p>＜カナダパラアスリートとの交流＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前をカタカナで書いてみよう ・「おはし」が上手に使えるようになろう <p>＜質問コーナー＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生児童からの質問にカナダのパラアスリートに答えてもらう。 <p>＜終わりの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表と校長からのお礼の言葉 ・お土産の贈呈 ・記念の集合写真撮影 ・選手退場退場
実施の様子	 <p>【パラアスリート自己紹介】 【交流活動(習字に挑戦)】 【代表児童と記念品と共に】</p>
児童・生徒の反応	<p>東京パラリンピックのメダルがすごかったです。こんなメダルを見て、手に取ることはまずないので感激でした。グレッグ選手はとても背が高くてびっくりしました。習字や豆つかみも一緒にできてよかったし、プレゼントのメダルや兜も喜んでもらえてよかったです。パリ・パラリンピックも頑張ってください！</p>
取組み結果	<p>神戸へ応援に行く計画が変更になったものの、交流活動が充実したことからも、今回の活動は児童にとって、とても有意義なものになった。児童の事前の準備やおもてなしも素晴らしく、改めて県の担当者の方々やカナダのパラ陸連関係者の皆様に感謝したい。なお、訪問の2人はパリ・パラのメダリストとなり、感激も倍増した。</p>

実施内容詳細②

＜パラアスリート網本麻里選手に学ぶ～講演会&車いすバスケットボール体験～＞

開催日時	令和6年11月25日（月） 9時35分～11時25分+12時20～13時50分
会場	多治見市立笠原中学校 体育館および笠原小学校校舎
参加者	5年生：54人 + 昨年度交流した6年生有志
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・講話や体験を「本物を知る・一流の人を知る」貴重な機会とすることができる。 ・パラリンピックの経験や、現在に至るまでの網本麻里選手の生き方や、ものの見方・考え方に触れることで「共生社会の実現」に向けて主体的に行動する
活動内容	<p>＜はじめの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表と校長からの歓迎のあいさつ ・児童による講師紹介 <p>＜講話＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網本麻里選手の生い立ちについて ・パリ・パラリンピックの選手村の様子をはじめ、児童たちが眼にすることのない「パラリンピックの裏側」 ・車いすバスケットボールとは？ <p>＜体験授業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技用車いすの操作練習 ・車いすバスケットボールの試合体験 <p>＜終わりの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表と校長からのお礼の言葉 ・花束と記念品贈呈 ・記念の集合写真撮影 ・お見送りセレモニー
実施の様子	   <p>【講演会の様子】 【車いすバスケットボール体験】 【車いすに乗っての試合】</p>
児童・生徒の反応	<p>車いすで走る姿がとてがかっこよかったです！！なんであんなに速く走れるのか、その秘密が知りたかったです。私たちはボールを持ちながらしか車いすを動かせなかったけれど、ドリブルしながらできるのがすごかったです。私たちもできるようになりたいです。パリ・パラリンピックのことも教えていただきありがとうございました。また、遊びに来てくださいね。</p>
取組み結果	<p>車いすバスケットボールという非日常のスポーツに対して児童の関心を寄せることができ、さらに網本麻里選手ならではの人間力に感服。今年度も充実した活動を展開することができた。今年度は競技用車いすが10台常備となり、学習環が整ってきた。</p>

実施内容詳細③

<カナダ岐阜県人会とのオンライン交流>

開催日時	令和7年3月11日（火） 8時40分～10時20分（100分）
会場	多治見市立笠原小学校 会議室
参加者	6年生：60人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの英語学習の既習事項を活用し、自分自身のコミュニケーション能力を試すことができる。 ・この機会を経て、「もっと話せるようになりたい」「もっと聞き取れるようになりたい」という意欲を高めることができる。 ・「国際理解の推進」が一層、図られるように今回はカナダを知ることによって今後の足掛かりとすることができる。
活動内容 ※同じ内容を2クラスで行う。	<p><はじめの会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターあいさつ ・校長あいさつ <p><笠原小6年生児童の発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をもとに、笠原小学校、笠原町、多治見市、岐阜県、日本について紹介する。 ・観光地、食べ物等、児童が「おすすめ」を紹介する。 ・カナダからの質問に答える。 <p><現地カナダからの発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞きながら、プレゼンテーションを視聴する。 ・内容に応じた質問をする。 <p><終わりの会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童からの感想を伝える。 ・カナダ岐阜県人会の鷺見会長からのお話を聞く。 ・お礼の言葉を述べる。 ・記念撮影を行う。
実施の様子	 <p>【オンラインで対話中①】 【オンラインで対話中②】 【最後の集合写真撮影】</p>
児童・生徒の反応	<p>カナダの人の興味を引くような内容を選びました。反応してくれてうれしかったです。英語が伝わるか不安だったけど、伝わったみたいでホッとしました。</p> <p>カナダの人の話を聞いて質問をすることができました。緊張したけど、答えてもらえてうれしかったです。</p>
取組み結果	<p>ネイティブとの交流ができ、実践的なコミュニケーションの場となった。コーディネーターの存在も心強かった。2年目の活動でもあり、要領がわかってやりやすかった。このような機会があること自体が大変、ありがたい。</p>

実施内容詳細④

＜日本在住のカナダの方からのカナダ紹介「デュアー先生からカナダのお話を聴く会」＞

開催日時	令和7年3月13日（木） 14時45分～15時30分（45分）
会場	多治見市立笠原小学校 会議室
参加者	4年生：54人
ねらい・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・2年目の推進校として、昨年度からの活動を拡充させ、4年生児童が「岐阜県とカナダとのホストタウン交流」に参加し、次年度以降の「パラスポーツを通じた共生社会の実現」、「オンライン交流などを通じた国際理解教育の推進」に有機的につなげることができる。 ・「国際理解の推進」が一層、図られるように、日本語での対話が可能な機会により、カナダを知ることによって今後の活動への足掛かりとすることができる。
活動内容 ※同じ内容を2クラスで行う。	<p>＜はじめの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表 歓迎のあいさつ ・校長あいさつ ・事業紹介並びに講師紹介 <p>＜デュアー先生のお話＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダの文化、生活、スポーツなどの紹介 <p>＜デュアー先生への質問タイム＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞いて、内容に応じた質問をする。 ・カナダについて知りたいことを質問する。 <p>＜終わりの会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童代表 お礼の言葉とお土産の贈呈 ・校長あいさつ ・記念撮影を行う。
実施の様子	 <p>【デュアー先生のお話】 【質問タイム】 【最後の集合写真撮影】</p>
児童・生徒の反応	デュアー先生のお話を聞いて、カナダのことを知ることができました。国旗や行事や、動物、スポーツ、食べ物など、初めて知ることがたくさんありました。私もカナダに行ってみたくくなりました。
取組み結果	はじめて4年生を対象とした活動を実施した。次年度はパラスポーツ体験も行う予定であり、学年に応じた活動を拡充することができた。

下呂市立下呂小学校 実績報告書

学校名	下呂市立下呂小学校			
所在地	下呂市森285番地			
学校規模	全校生徒数	213人	クラス数	11学級
本事業への参加者	4年・34人			
実施概要	月	概 要		
	5月	I' m Possible	1-1 パラリンピックってなんだろう？	
	6月	・カナダ選手応援ポスター作り	・応援動画撮影のため、カナダ選手を応援するポスター作りを行った。カナダの国旗など、タブレットで調べたことを表現した。	
	7月	・カナダ学習 ・応援メッセージ動画の撮影	・カナダ出身のアンドリュー先生から、カナダについて紹介してもらった。 ・パリオリンピック・パラリンピックに出場するカナダ選手への応援動画を撮影した。	
	8月			
	9月			
	10月	I' m Possible	1-5 パラリンピアンが学校に来るとしたら	
	11月	パラリンピアンとの交流会	石田駆選手の講話と、50m走体験	

<アンドリュー・デュアー教授によるカナダ学習>

開催日時	令和6年7月3日 9時20分～10時05分(45分)
会場	教室
参加者	4年 34人
ねらい・目的	カナダ出身の先生との交流を通して、カナダの歴史や文化を知り、カナダに対して親しみを持つことができる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童代表によるあいさつ ・教頭から授業のねらいを紹介 ・岐阜県職員から、カナダとホストタウン交流の紹介。講師の紹介(東海学院大学教授 アンドリュー・デュアー先生) ・アンドリュー先生からの講話「カナダの紹介」

	<ul style="list-style-type: none"> ・児童から講師へ質問 ・児童から講師へお礼の言葉 ・記念撮影
実施の様子	 <p>【アンドリュウ先生によるカナダ紹介の様子】</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダについて自然や食べ物など関心をもつことができた。 ・内容が少し難しく、話だけでは理解しにくい部分もあったが、写真がたくさんあったので理解の助けになっていた。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダという国名は知っていても、どこにあるのか、どんな風景なのか、何があるのかなど知らない児童もいたので、応援動画の撮影前にカナダについて知ることができてよかった。カナダについてより身近に感じて応援動画の撮影へと向かえたのでよかった。

<I' m possible を使った授業「パラリンピアンが学校に来るとしたら？」>

開催日時	令和6年10月31日 14時20分～15時05分（45分）
会場	4年教室
参加者	4年 34人
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「パラリンピアン」について知る 2. アニメーションを見る 3. たまちゃんが困っていることについてグループで考える 4. アニメーションを見て振り返る
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアンについて理解を深めることができた。 ・実際にパラリンピアン（石田選手）を招待するので、下呂小学校のバリアフリーがどうなっているのか、石田選手とどのように関わると良いか主体的に考える姿があった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックや、パラリンピアンについて知らない児童もいたので、関心をもつきっかけになった。 ・石田選手との交流を楽しみにする児童が増えた。

<石田駆選手との交流会>

開催日時	令和6年11月8日 10時05分～11時45分 (100分)
会場	教室、グラウンド
参加者	4年 34人
ねらい・目的	石田選手の生い立ちを知ると共に、夢を諦めることなく、目標に向かって努力し続けている素晴らしさを感じることができる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・石田選手入場 ・児童による挨拶 ・岐阜県職員から、石田選手の紹介 ・石田選手から講話 ・石田選手への質疑応答 ・50m競争 ・写真撮影
実施の様子	  <p>【石田選手の講話の様子】</p>   <p>【走り方の指導を受けた様子】 【石田選手と50m走の様子】</p>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・石田選手が、大きな病気を乗り越えて挑戦した姿に感動する児童がいた。自分も努力したいという願いをもつ児童もいた。 ・一緒に50メートルを走り、パラリンピアンの速さを体感できて喜ぶ児童が多かった。
取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック選手に出会えた経験は、児童達にとってかけがえのないものになった。(オリンピックイヤーであったため感動はなおさら大きかった) ・50メートル走を一緒に走ることができ、石田選手のすばらし

	<p>さを実感していた。</p> <ul style="list-style-type: none">• 石田選手が写真を撮ったり、サインを書いちゃださったりしたことを、児童たちはとても喜んでた。サインを宝物にしていた。• 4年生の児童は、総合的な学習で福祉を学んでたため、つながりがあり、学びが深まった。
--	--

中津川市立山口小学校 実績報告書

学校名	中津川市立山口小学校			
所在地	中津川市山口1647-21			
学校規模	全校生徒数	41人	クラス数	5
本事業への参加者	全学年・41人			
実施概要	月	概 要		
	5月			
	6月			
	7月	共生社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ人選手への応援動画撮影 ・パラリンピアン（石田 駆選手）の講演会及び競技体験 パラ陸上（東京パラ）石田 駆選手 	
	8月	共生社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・パリパラリンピック、車いすバスケット日本代表の試合動画の視聴 	
	9月	共生社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアン（網本 麻里選手）の講演会及び競技体験 車いすバスケットボール女子（パリパラ）網本 麻里選手 	
	10月			
	11月			
	12月	共生社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童代表委員会主催の人権に係る取組 お世話になった石田選手と網本選手へのメッセージ動画の撮影・配信 	
	1月			
	2月	国際理解の推進	カナダ岐阜県人会の協力によるカナダ在住カナダ人（ローラさん）とのオンライン交流	
	3月	共生社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアン（石田 駆選手）の講演会及び競技指導 パラ陸上（東京パラ）石田 駆選手 	

実施内容詳細

<オリンピック・パラリンピックレガシー 石田 駆選手との交流会>

開催日時	令和6年7月18日 10時40分～13時00分（140分）
会場	集会室・運動場・6年教室
参加者	全校 39人
ねらい・目的	パラアスリートとして活躍する石田 駆選手の講話を聴いたり、一緒に走ったりする活動をとおして、その生き方の素晴らしさについて学ぶ。

活動内容	<p>○石田駆選手の講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生い立ちとパラアスリートとしての心境とこれまでの実績について。 <p>○石田駆選手と走ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短距離の走り方について学ぶ。 ・一緒に50mを走ったり、走る姿を見たりすることで、石田駆選手の速さを体感する。
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">「講演の様子」 「50m走の様子」</p>
児童・生徒の反応	<p>右腕のことを全く感じさせない速さにびっくりしました。雲の上を走っているようで、あっという間にゴールしてしまいました。</p> <p>担任の先生と同級生ということで、一緒に給食を食べながらたくさん話もできて、とても楽しい時間を過ごすことができました。</p> <p>石田選手のようにどんなことがあってもくじけずに、自分を信じて生活していきたいと思います。がんばれ、石田選手、山口小のみんなが応援しています。</p>
取組み結果	<p>石田選手の「みんなも自分の好きなこと、やってみることに挑戦し、夢をかなえてほしい。」という言葉は、今年度本校が大切にしてきた「挑戦」というキーワードと重なり、子供たちが運動会をはじめたくさんのことに挑戦しようとする意欲へとつながった。</p>

<網本真理選手との交流会>

開催日時	令和6年9月18日 10時40分～13時00分(140分)
会場	集会室、体育館
参加者	全校 39人
ねらい・目的	<p>自分の好きなこと・できることに前向きに取り組み、常に挑戦し続けている網本選手の生き方にあこがれをもち、困難にも立ち向かい明るく生きていこうとする態度を養う。</p>

活動内容	<p>○網本麻里選手の講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生い立ちとこれまでの実績について ・ パリパラリンピックの様子について ・ パラアスリートとしての生き方について <p>○網本麻里選手と車椅子バスケットをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デモンストレーション ・ 車いすの使い方について ・ 試合
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「試合の説明の様子」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「試合の様子」</p> </div> </div>
児童・生徒の反応	<p>車いすのスピードも速いしターンも速い。立って投げても飛ばないのに、車いすに乗ったまま腕の力だけで遠いところからでも、シュートを決めるのがすごい。</p> <p>網本選手は、お話をしてくれる時、バスケットをしている時、いつも笑顔で元気に私たちに話をしてくれた。網本選手から、生きる勇気をもらいました。これからも目標に向かって頑張ってください。</p>
取組み結果	<p>事前に近隣の中学校から、スポーツ用の車いすを10基借用し、休み時間等に自由に乗せました。あっという間に乗りこなしていた子供たちでしたが、網本選手のスピードとボールコントロールを間近に見て、感動していました。</p> <p>パリパラリンピックから帰国して、1週間も経っておらず、パラリンピックの話が子供たちにはとても新鮮で、子供たちの良い思い出にもなりました。網本選手が最後に言われた、『障がいは自分の個性の一つだと思っている。誰かに「あなたのチャームポイントは？」と聞かれたら、迷わず「細い右足」と答える。辛いこともたくさんあったけど助けてくる家族や友達がいるから、また挑戦して乗り越えていける。』という言葉が児童のみならず職員の心にも響きました。児童は挑戦する楽しさと共に支え合って生きる大切さを、私たちに教えてくれました。</p>

＜カナダ岐阜県人会とカナダ在住カナダ人とのオンライン交流＞

開催日時	令和7年2月19日 8時45分～9時35分(50分)
会場	集会室にてオンライン
参加者	3年～6年 29人
ねらい・目的	これまでに学習した外国語活動の既習事項を活用し、中津川市や山口小学校の魅力をカナダの方に伝えよう。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダ側からの挨拶、自己紹介 ・山口小学校児童からの地域・学校の紹介 ・ローラさんからのカナダ紹介 ・田中さんからのカナダ紹介 ・質問タイム ・山口小学校からのメッセージ
実施の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「質問する様子」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「カナダの皆さんと記念撮影」</p> </div> </div>
児童・生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の裏側のカナダの人と会話ができるなんて不思議な感じがした。 ・カナダは1年の半分が冬だと聞いてびっくりした。マイナス20度は普通だということにもびっくりした。 ・夏は、夜9時でも明るいなんて想像もできない。逆に冬は4時ころには暗くなるから、山口だったら大変だと思った。 ・カナダの名所やおいしい食べ物を教えていただき、カナダのことをたくさん知ることができてよかったです。山口と同じで、自然豊かなところだということがわかりました。
取組み結果	<p>コーディネーターの田中さんが、英語と日本語を小学生に分かるようにうまく織り交ぜて進行してくださったので、子供たちも自信をもって英語で中津川の様子などを伝えることができた。</p> <p>子供たちは、田中さんや岐阜県人会代表の鷺見さんのお話から、外国語を話せることは、活動の幅が大きく広がるということを実感できた。</p>